

2021 年度金沢大学「人文社会科学における法（法政基礎論 B）」（人社学域 GS 科目）

小テスト解答（2022 年 1 月 11-14 日 WebClass で実施）

足立英彦（法理学）出題分

1. 以下の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。（以下、問 11 まで各 8 点）
  - (a) 現在通用している法令を研究直接の対象とする分野を実定法学といい、実定法学以外の分野を基礎法学という。
  - (b) 実定法学や基礎法学の共通の問は「何が法か？」である。
  - (c) 法理学の問は「法とは何か？」である
  - (d) 法理学は、時代や場所によって異なりうる、法の可変的な性質を研究対象とする。

正解 d：法理学の対象は、時代や場所によって異ならないような法の本質である。
2. 以下の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。
  - (a) 規範文の意味内容を規範という。
  - (b) 道徳規範は道徳的権利を含意する。つまり、道徳的義務を負っている人がいれば、その人にその義務の履行を請求できる道徳的権利を持つ人がいる。
  - (c) 様相は、文に対する話者や書き手の態度を表す。
  - (d) 義務様相を含む文を規範文という。

正解 b：法規範以外の規範は権利を含意しない。
3. 以下の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。
  - (a) 「世界 w において A であることが必然的である」を「w から到達可能なすべての可能世界で A である」と言い換えられる。
  - (b) 世界 w において「A が必然的である」( $\Box A$ ) という文が真ならば、同じ世界 w において A も真である。
  - (c) 世界 w において A が偽なら、同じ世界 w において「A が必然的である」( $\Box A$ ) の真偽は不明である。
  - (d) 世界 w において「A が可能である」が偽ならば、同じ世界 w において A は偽。

正解 c：世界 w において A が偽なら、w において「A が必然的である」は偽。後者は w において A が真であることも含意しているので。
4. 以下の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。
  - (a) 「ある世界 w において A であることが義務的である」ということを「w から到達可能なすべての理想世界で A である」と言い換えることができる。
  - (b) 世界 w において「私は人を殺してはいけない」が真なら、同じ w において「私は人を殺さない」も真。
  - (c) w から到達可能なすべての理想世界で「A でない」が真ならば（＝「A である」が偽ならば）、w において A は許されていない。
  - (d) 様相を真理様相として理解する場合はすべての可能世界を想定するが、義務様相として理解する場合は理想世界のみを想定する。

正解 b：規範はそれが属する世界のことを記述しない。

5. 以下の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。
- (a) 自然科学と法学は、ともに様相を含む文を対象とする点が共通している。
  - (b) 自然科学の仮説は実験や観察によって否定できるが、法学の仮説は実験や観察によって否定できない。
  - (c) 「煙草を吸わないことは義務である」と「煙草を吸うことは許されない」は同じことを意味する。
  - (d) 「煙草を吸うことは義務である」が偽であれば、「煙草を吸わないことは義務である」は真である。

正解 d：両者は反対の関係にあるので、一方が偽であるという情報だけでは、他方の真偽は分からない。

6. 以下の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。
- (a) 「A が必然的である」( $\Box A$ )と「A でないことが不可能である」( $\neg \Diamond \neg A$ )は同じ意味である。
  - (b) 「A が必然的である」が真ならば、「A が可能である」も真である。
  - (c) 不可能なことは義務づけられない。
  - (d) 「A が可能である」が真ならば、「A が不可能である」も真である。

正解 d：両者は小反対否定の関係にあるので、一方が真という情報だけでは他方の真偽は決まらない。

7. 以下の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。
- (a) 作為が許されているか、または不作為が許されていることを自由という。
  - (b) タバコを吸うことについて自由があるならば、タバコを吸わないことが許されている。
  - (c) タバコを吸うことが禁止されているならば、タバコを吸うことは許されていない。
  - (d) タバコを吸う義務があるならば、タバコを吸うことは禁止されていない。

正解 a：作為と不作為の両方が許されていることを自由という。

8. 以下の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。
- (a) 「正義とは何か」という問に対する多様な答えを「正義構想」(conceptions of justice)と呼ぶ。
  - (b) 様々な正義構想が共有する観念を「正義概念」(the concept of justice)と呼ぶ。
  - (c) アリストテレスは正しいこと(正義)とは等しいこと(平等)であると考えた。
  - (d) 法が正しい規範であるべきならば、ある正義構想に反する規範は不正であり、法ではない。

正解 d：正義構想ではなく正義概念。

9. 以下の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。
- (a) アリストテレスの2者間の正義は一般的正義と呼ばれる。
  - (b) 売買や交換において引き渡される者や貨幣の価値が等しいことを交換的正義という。
  - (c) 犯罪や不法行為において、罪と罰、損害と賠償の価値が等しいことを矯(匡)的正義

という。

- (d) 分配的正義の要請によれば、何かを分配する場合には、分配される人の価値に応じて分配しなければならない。

正解 a：平均的正義が正しい。

10. 以下の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。

- (a) 分配的正義は、我々が従うべき規範の形式と内容を定める。  
(b) 規範の内容を定めるためには、その規範によってどのような目的を実現したいのかを考えなければならない。  
(c) 憲法が保障する人権を基本権という。  
(d) 最善の状況を記述し、その最善の状況が実現されない場合に何かなされるべきかを記述していない規範（法）を「原理」と呼ぶ。

正解 a：分配的正義にとって、規範の内容はどのようなものでもよい。

11. 以下の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。

- (a) 基本権を制限する法律は、その基本権制限の目的が正当であり、その目的を実現するための手段も正当であれば合憲である。  
(b) 基本権を制限する法律が定める法的効果（手段）が、その法律が実現しようとする目的に適合的でなければ違憲である。  
(c) 法律が実現しようとする目的以外の目的を不必要に侵害する法律は違憲である。  
(d) 法律が実現しようとする目的の重みより、その法律によって侵害される他の目的の重みの方が重ければ合憲である。

正解 d：違憲である。

12. この授業（1月4日、11日）の感想（納得した点、驚いた点、疑問に思う点、難しく理解できなかった点など）や改善提案等を記入して下さい。（どのような内容でも、何か意味のある文が記入されていれば正解とします。）（12点）

回答 WebClass より個別にお返事をしておきました。1回目の授業（様相論理）は難しかった、共通科目の「論理学から見る世界」で学んだことと同じで驚いた、比例原則がよく分かった等のご意見をいただきました。

参考情報（2022年2月9日現在）

● 小テスト結果

履修登録数	受験者数	平均点（100点満点）
198	189	84